

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和6年度 11月号



『勤労感謝の日』によせて

図書館から眺める景色も秋の深まりが感じられます。来たる11月23日は勤労感謝の日。勤労を尊び、生産性を祝い、国民が互いに感謝しあう日とされています。2年生は「チャレンジ体験」、1年生は「ジョイ JOB LAND」、と勤労にちなんだ取組が行われました。働くことへの関心が高まるとともに、おうちの方への感謝の気持ちが自ずと大きくわいてくるのではないのでしょうか。

図書館にも関連本が多くあります。また、1年生フロアのたちよみ文庫やクラスごとに設置した職業調べに関する文庫も活用して、学びを深めてください。自分は何に幸せを感じるのか、どんなことにやりがいを感じるのか、どのような職業に就きたいのか、未来にも目を向けていきたいですね。3年生の進路選択もそのうちの一つ。叶えたい将来像に合致した道を、自分自身で選び取れるよう願っています。

■図書館からのおすすめ■

*「すごいぞ！はたらく知財」 内田朋子 他

著作物・特許・商標・意匠などの知的財産にかかわる仕事について、さまざまな権利や利用法をわかりやすく解説。知財を生み出す仕事の奥深さにも触れられます。

【蛇足】本書をヒントに調べてみました。色彩のみからなる商標があると知ってびっくり！国内には9例あるそうです。

《セピア・白・オレンジ》の色の組み合わせ→○○○ラーメンのパッケージ

《白・オレンジ・緑・赤》の色の組み合わせ→コンビニの看板

《青・白・黒》の色の組み合わせ→消しゴムケース

なども商標登録がされています。配色だけで店名や製造会社がわかりますね？

参考：特許庁の広報誌『とっきょ』

＊「Work Rule 15歳のワークルール」 道幸哲雄

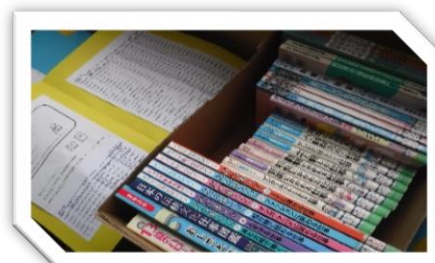
働くことにどんな意味があるのか？仕事につくときやするとき、仕事を辞めるときのルールは？ 素朴な疑問や実例をはじめ、関連する法律についてもわかりやすく書かれています。

＊「君のお金は誰のため」 田内学

勤労とお金は切っても切れない関係性があります。この本は、お金の正体や社会の仕組みについて学べる物語です。ある大雨の日、中学2年生の優斗が大富豪の暮らす謎めいた屋敷に足を踏み入れることになります。そこで「建物の本当の価値がわかる人間にこの屋敷を譲る」と言われた優斗…。続きは本書を読んでください！

＊「大切にしたいものは何？」 鶴見俊輔

いずれ働くとはいうものの、そもそも自分ってどういう人間なのか。どんな価値観や理想をもっているのか。知っているようで、実はよくわからない自分がいます。作中では、ひとりの老人と13名の中学生が輪になって、自分たちを取り巻く問題について話し合っていきます。（老人は哲学者である著者です。）



職業調べに関する文庫

★冬の特別貸出★

懇談期間中や冬休みにお家でゆっくりと本を読んでみませんか？

何かと気忙しい時季ではありますが、外の寒さをよそに、あたたかい部屋でぬくぬくと本の世界に浸るのは幸せを感じますよ！

■貸出の冊数 1人につき5冊まで

■貸出の開始 12月2日（月）昼休み

■返却の期限 1月9日（木）昼休み



戦争と平和に関する本もおすすめです。
中高生新聞もあります。

